

尾島図書館だより 10月号^{No. 275} 2026. 10. 1

読書週間

10月27日～11月9日

終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。

これは11月16日から

1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。

各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、

第2回からです。それから約80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。



「静かだけど、冒険中。」

静かに座って本を読んでいるだけのように見えても、頭の中では誰も見たことがない世界へ大冒険に出かけています。図書館には、あなたを新しい世界へ連れて行ってくれる本がたくさん待っています。是非、とっておきの1冊を見つけに来てくださいね。

本の世界を旅しよう

周りから「涙つぼ」と呼ばれるよく泣く子どもと、涙を集める不思議な男の出会いを通じて、人間の痛みや希望を描いた大人のための童話です。



涙の箱

ハン ガン/作
評論社

一般書 929

星のカービィ 夢幻の歯車 霧につつまれた大事件!?

高瀬 美恵/作 KADOKAWA

カービィの住む街に、「困っている人を助けたい」と煙突掃除屋さんのマルクがやってきた。これが新しい事件の始まりで!? カービィがナゾを追う、いつものププランドとは違う別の世界の物語です。



児童図書913タ

10月休館日 5日(月)、
7日(水)~14日(水)、
(蔵書点検のため)
19日(月)、26日(月)

放課後ミステリクラブ 9

知念 実希人/作 ライツ社

殺されたようにみえたカブトムシが翌朝生き返っている。この謎はいったい!?



児童図書 913 ち

「ミステリトリオ」が動き出す。
児童書本格ミステリ本です。

くじらがしんだら



江口 絵理/文

童心社

絵本 E ク

大きなクジラが死んで、深海に沈みました。

そのからだは、深海の生きものたちのごちそうになり…。海の底でいのちをつなぐ、ユニークな深海生物たちの物語です。

パンどろぼうとスイーツおうじ

柴田 ケイコ/作 KADOKAWA

スイーツおうこくのスイーツおうじは、スイーツばかり食べてほかのものを食べません。心配したおうひさまは、パンどろぼうに解決してほしいと、お城へまねきますが…。

料理をめぐって大活躍するパンどろぼう。

楽しくてほっこりする物語です。

絵本 E パ

